

2020年7月9日

○ 7月定例所長会見における発電所長挨拶内容

- 所長の石井でございます。
- 福島第一原子力発電所の事故により、今もなお、大変多くの皆さまに、ご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、あらためまして心よりお詫び申し上げます。
- 本日、私からは3点お話しをさせていただきます。

< 1. 燃料洗浄作業の完了 >

- はじめに、7号機における燃料の洗浄作業についてです。

本年6月1日より、次のサイクルで使用予定の燃料集合体のうち、異物が付着している可能性の高い、古い燃料集合体の洗浄作業を実施していましたが、トラブル無く、6月26日に対応が完了いたしました。

この作業は、燃料に付着したワイヤブラシの素線等により、プラント運転中の燃料棒の被覆管に微小な孔が開いてしまう可能性を低減するために実施したものです。

この洗浄作業によって、ワイヤブラシの素線と推定される物をはじめ、微小な異物を回収することができ、リスクをより低減することができたと考えています。

< 2. ブローアウトパネル閉止装置の設置工事 >

○ 次に発電所内の安全対策工事の取り組み状況についてです。

昨日7月8日より、ブローアウトパネル閉止装置の設置工事を開始いたしました。

ブローアウトパネルとは、原子炉建屋の最上階の壁に設置されているもので、万が一の事故時、蒸気漏えい等により原子炉建屋内の圧力が上昇した際に、建屋内の圧力を下げるために自動的に外側に外れるパネルです。

これまで、外れたパネルを遠隔操作で元に戻すことができませんでしたが、新規制基準では、事故対応を担う運転員の被ばく低減を目的に、圧力減少後に速やかに開いた隙間を閉止することが求められており、遠隔操作が可能なブローアウトパネル閉止装置を設置することといたしました。

今後も、安全を大前提として、工事を着実に進めてまいります。

< 3. 地域共生活動 >

○ 3点目は、当発電所における地域共生活動についてです。

現在、新型コロナウイルスの影響により、全戸訪問のような活動は難しい状況となりましたので、当社単独でのボランティア活動や地域の飲食店支援などの活動を実施しているところです。

活動の一例をご紹介させていただきますと、6月中旬から約2週間、1日10名程度で発電所近隣にある荒浜の海岸清掃活動を実施いたしました。現在は、大湊の海岸清掃に取りかかっているところです。

このような共生活動については、今後、地域の皆さまと一緒に取り組めるようなコミュニケーション活動に進化させてまいります。

地域行事においては、従来のような出展者としてだけでなく、運営スタッフとして参加させていただくことで、主催者様と共同で行事に取り組みながらコミュニケーションを深めていきたいと考えております。また、各地での小規模な自主イベント開催も検討してまいります。

なお、今後の新型コロナウイルス等の状況を見ながらになりますが、広報部員以外の所員もこういった活動に参加することで、一人ひとりが地域の皆さまの思いをしっかりと受け止め、自らの業務への意識を高めていってほしいと考えております。

<電離健康診断>

- 最後に、新型コロナウイルスの国内流行に伴う電離健康診断の延期対応についてですが、5・6月に受診予定であった協力企業の約880名を対象に、地元医療機関のご負担を軽減すべく、当社施設にて健診を実施しているところです。この対象者につきましては、10月末までの受診が必要となりますが、計画的に受診していただけるよう対応してまいります。

一方で、今月以降の受診対象者につきましては、地元医療機関からのご理解もいただいております、コロナが流行する前のように、地元での受診という通常の形に順次戻してまいります。なお、受診の際にはマスク着用の徹底を呼びかけ、地域の皆さま、医療機関の皆さまにご心配をおかけしないように留意してまいります。

- 本日、私からは以上です。

以 上